

宮城県感染症発生動向調査情報

平成29年8月3日発行

— 2017.7.24～2017.7.30—第30週—

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第27週	第28週	第29週	第30週
水痘		3 0.30	2 0.40	2 1.00		2 0.40	1 0.50	11 0.41	21 0.36	744	○	○	レ	
流行性耳下腺炎	1 0.20	5 0.50	1 0.20	1 0.50				2 0.07	10 0.17	381		○	レ	
百日咳									0 0.00	8				
感染性胃腸炎	25 5.00	39 3.90	22 4.40	22 11.00	13 4.33	11 2.20		118 4.37	250 4.24	9,336	◎	◎	◎	◎
手足口病	11 2.2	15 1.5	84 16.80	3 1.50	13 4.33	23 4.60	1 0.50	208 7.70	358 6.07	1189	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	4 0.8							1 0.04	5 0.08	111				
突発性発しん	1 0.20	6 0.60			3 1.00	2 0.40	2 1.00	11 0.41	25 0.42	1,017	◎	○	レ	レ
ヘルパンギーナ	1 0.2	16 1.6	9 1.80	1 0.50	7 2.33	5 1.00		23 0.85	62 1.05	226		○	○	○
インフルエンザ								1 0.02	1 0.01	27,049				
咽頭結膜熱		12 1.20	2 0.40	1 0.50		2 0.40		43 1.59	60 1.02	1,253	◎	◎	◎	◎
流行性角結膜炎		3 1.00	1 1.00					2 0.33	6 0.50	83				
急性出血性結膜炎									0 0.00	0				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7 1.40	31 3.10	5 1.00	1 0.50		16 3.20	1 0.50	27 1.00	88 1.49	5,124	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	1				
マイコプラズマ肺炎	2.00 2.00			1 1.00		1.00 1.00		2 0.40	6 0.50	148				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	5 1.00	13 1.30	8 1.60			3 0.60		76 2.81	105 1.78	653	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	50				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	2	7		1	1	1		6					
	川崎病	1							1					
	不明発疹症					1			7					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

石巻管内 女性1名
塩釜管内 男性1名、女性1名
大崎管内 男性1名、女性1名
仙南管内 男性1名
仙台管内 男性1名、女性3名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O91)

大崎管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O不明)
大崎管内 男性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O26)
栗原管内 男児1名※
腸管出血性大腸菌感染症(O121)
仙台管内 女性1名

4類感染症: レジオネラ症

塩釜管内 男性2名

5類感染症: アメーバ赤痢

石巻管内 男性1名
後天性免疫不全症候群
大崎管内 男性1名
仙台管内 男性1名
梅毒
仙台管内 男性2名
※男児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

[手足口病]

大崎管内、仙台管内で警報継続中

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

報告なし

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第26週採取分 (7.3～7.9)	第27週採取分 (7.10～7.16)	第28週採取分 (7.17～7.23)
インフルエンザウイルスA(H3)型	0件	1件	0件
RSウイルス	1件	6件	3件
アデノウイルス	0件	1件	0件
ライノウイルス	0件	0件	1件
サイトメガロウイルス	0件	2件	0件
パラインフルエンザウイルス(1型)	1件	1件	0件
パラインフルエンザウイルス(3型)	6件	7件	4件
パラインフルエンザウイルス(4型)	0件	1件	1件

* パラインフルエンザウイルス(3型)の分離が多い状態が続いています。

** 第28週からRSウイルスの分離が多い状態が続いています。

4. 今週のコメント

【重症熱性血小板減少症候群(SFTS)】

多くの場合、SFTSウイルスを有するマダニに咬まれることにより感染します。初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状等ですが、高齢者などでは重症化し死亡することもあります。県内ではSFTS患者の報告はありませんが、全国的には西日本を中心に毎年60名前後の報告があります。感染予防には、マダニに咬まれないことが大切で、草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入る場合には、首にタオルを巻く、長袖・長ズボンを着用するなど、肌の露出を少なくする対策が大切です。また、マダニに吸血された場合には、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関でマダニの除去、洗浄などの処置を受けてください。

なお、野生動物やネコ・イヌなどからのSFTSウイルス検出の報告もありますが、屋内飼育の動物は、基本的にSFTSウイルスの心配はないとされています。仮にペットからダニが見つかった際には動物病院を受診してください。

【手足口病】

県では、今週、1定点医療機関当たりの患者報告数が警報開始基準値である5人を超えたため、注意喚起を行いました。夏季に流行のピークを迎えるため、石けんと流水による手洗いなど感染予防に努めてください。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansens-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

